

『いいまちには いい学校がある』

1年間をとおして南小の子ども達と教職員がお世話になった交通指導員の皆様とボランティア・ティーチャーの皆様(37名)に感謝の気持ちを伝える『ボランティア感謝の会』が、13日(水)に開かれました。

ボランティア・ティーチャー代表の片柳義隆先生は、

朝のあいさつを始めたときは、誰もあいさつを返してくれなかったが、ハイタッチをしながら続けていくうちに、今のよう元気なすばらしいあいさつになった。

とおっしゃいました。子ども達も、我々教員も“登校時のあいさつ”の歴史を知ることができました。

読書ボランティアの方が、「読み聞かせ」の後にその日の感想を書くノートがあります。そこから一部掲載します。

- ・ 拍手でむかえられとてもうれしくなりました。元気なみんながよく聞いてくれました。
- ・ 1年生になった皆さんに、いつも「ともだちシリーズ」を読んでいます。
- ・ とても静かに聞いてくれました。長い話を読み終えてよかったです。
- ・ セタが近いので読みました。長いので少し省略して読みましたが、集中して聞いてくれました。
- ・ 「昔話を読みます。」と言うと、読む前から子ども達は喜んだので、昔話のおもしろさが分かってくれるかも思いうれしかったです。
- ・ 子ども達はよく聞いてくれたのに、つまったりまちがえたり。もう少し読みこんでくれればよかったです。
- ・ 放射能についての質問がありました。これからいろいろな質疑応答が楽しめそうです。
- ・ 今年はじめての読み聞かせでしたが、全員静かに聞いてくれました。
- ・ 悲しい話ですが、教科書で習うので、紙芝居で読んでみました。
- ・ 6年生、最後の話でした。うなずきながら聞いてくれました。

子ども達の学力向上のために

本校の子ども達が将来自分らしくたくましく生き抜くために、一人一人の子ども達に『自分の考えをまとめ説明できる力』を、授業をとおして身につけさせているところです。

そのための我々の勉強会として、栃木県教育委員会や栃木市教育委員会から講師を招き、以下のことについて学んでいます。

- ・職員室のチームワークを高めるためには
- ・学力向上をめざす授業の工夫
- ・各種学力調査の効果的な活用方法
- ・家庭学習の工夫

引き続き「わかる楽しい授業」をめざしていきます。



児童代表のこたば(6年・前橋優羽さん)



プレゼントの贈呈



ボランティアティーチャー代表のお話

